

FAX送信用

令和4年12月12日

関係者各位

苫小牧労働基準監督署

業種別労働災害発生状況について

日頃より労働基準行政の推進について、格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当署管内の業種別労働災害発生状況（令和4年11月末速報値）を別紙のとおり取りまとめましたので、参考までに送付いたします。

なお、北海道労働局のホームページ（http://hokkaido-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/jirei_toukei/anzaen_eisei/saigai.html）には、当署を含め全道各署の労働災害発生状況を掲載（毎月10日頃更新予定）しておりますので、御参照ください。



担当：苫小牧労働基準監督署 第2方面
電話：0144-88-8900

令和4年 業種別労働災害発生状況

(令和4年11月末現在)

苫小牧労働基準監督署

業種別	区分	令和4年				令和3年				対前年		業種割合
		死亡	休業 4日 以上	合計	転倒災害	死亡	休業 4日 以上	合計	転倒災害	増減数	増減率	
	全産業合計	4	(19) 772	(19) 776	131	4	(18) 482	(18) 486	129	290	59.7	100.0
	除く鉱業計	4	(19) 772	(19) 776	131	4	(18) 482	(18) 486	129	290	59.7	100.0
	製造業	2	(1) 110	(1) 112	28	1	(2) 83	(2) 84	23	28	33.3	14.4
内 訳	食料品	1	28	29	4		(2) 28	(2) 28	8	1	3.6	3.7
	木材木製品		15	15	6		12	12	4	3	25.0	1.9
	紙・パルプ		6	6	6		5	5		1	20.0	0.8
	窯業・土石		16	16	2		7	7	4	9	128.6	2.1
	金属・機器		(1) 12	(1) 12	1		5	5		7	140.0	1.5
	輸送用機械		16	16	7		4	4	2	12	300.0	2.1
	その他	1	17	18	2	1	22	23	5	-5	-21.7	2.3
	鉱業											
	土石採取		2	2	1		2	2				0.3
	建設業	1	(2) 53	(2) 54	3	1	(1) 59	(1) 60	8	-6	-10.0	7.0
内 訳	土木工事業		(2) 14	(2) 14	1		(1) 22	(1) 22	1	-8	-36.4	1.8
	建築工事業		18	18	1	1	25	26	4	-8	-30.8	2.3
	木造建築業		10	10	1		7	7	1	3	42.9	1.3
	その他の工事業	1	11	12			5	5	2	7	140.0	1.5
	道路貨物運送業	1	(7) 72	(7) 73	20		(3) 74	(3) 74	15	-1	-1.4	9.4
	その他の運輸業		6	6	3		(1) 7	(1) 7	3	-1	-14.3	0.8
	陸上貨物取扱業						3	3	1	-3	-100.0	
	港湾荷役業		6	6			4	4		2	50.0	0.8
	林業		5	5		1	3	4		1	25.0	0.6
	漁業		2	2			1	1		1	100.0	0.3
	卸売・小売業		(3) 58	(3) 58	25		(5) 56	(5) 56	22	2	3.6	7.5
	清掃業		17	17	9	1	22	23	9	-6	-26.1	2.2
	ゴルフ場		8	8	1		10	10	3	-2	-20.0	1.0
	その他の事業		(6) 433	(6) 433	41		(6) 158	(6) 158	45	275	174.1	55.8

本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）により集計した速報値であり、修正することがあります。

() 内は交通事故で内数です。 転倒災害は内数です。

令和4年 業種別労働災害発生状況（その2）

「その他の事業」の内訳

（令和4年11月末現在）

区分 業種別	令和4年				令和3年				対前年		業種割合
	死亡	休業 4日 以上	合計	転倒 災害	死亡	休業 4日 以上	合計	転倒 災害	増減 数	増減 率	
服業		8	8	3		8	8	4			1.0
畜産業		47	47	4		30	30	4	17	56.7	6.1
理美容業						1	1		-1	-100.0	
その他の商業		8	8	1		6	6	2	2	33.3	1.0
金融・広告業						5	5	3	-5	-100.0	
映画・演劇業											
通信業		(2) 10	(2) 10	2		(3) 6	(3) 6	2	4	66.7	1.3
教育・研究業		(1) 8	(1) 8			4	4	2	4	100.0	1.0
保健・衛生業		(1) 313	(1) 313	17		57	57	14	256	449.1	40.3
飲食店		(1) 17	(1) 17	5		17	17	7			2.2
その他接客娯楽業 (除くゴルフ場)		7	7	3		5	5	2	2	40.0	0.9
その他の事業		(1) 15	(1) 15	6		(3) 19	(3) 19	5	-4	-21.1	1.9
合計		(6) 433	(6) 433	41		(6) 158	(6) 158	45	275	174.1	55.8

令和4年 死亡災害発生状況

(令和4年11月末現在)

苫小牧労働基準監督署

件数	発生日	発生時間	事業の種類	規模	災害の種類	起因物	災害発生状況の概要
1	1	13時台	その他の製造業	10人～30人	はさまれ、巻き込まれ	動力運搬機	事業場敷地内において、けん引車両とトレーラーを連結する作業中、被災者がトレーラーの連結部付近で除雪作業を行っていたところ、けん引車両が後進して同車とトレーラーに挟まれたもの。
2	3	16時台	自動車運送業	10人～30人	転落	車両系木材伐出等機械	伐採作業が終了した林業現場において、当該現場にて発生した残材を収集するため木材グラブ機を運転していたところ、当該機械が集材道の路肩から転落し、この際に運転席から投げ出された被災者が、当該機械の下敷きとなったもの。
3	8	13時台	食料品製造業	100人～300人	崩壊、倒壊	荷姿の物	工場の冷凍庫内において、被災者が崩れてきた袋物の荷の下敷きとなったもの。同庫内では、別の労働者がフォークリフトを用いパレット上に積まれた袋物の荷の運搬のための作業を行っていたところ、横に積み重ねられていた荷が崩れてきたもの。
4	8	9時台	機械器具設置工事業	～9人	墜落、転落	その他の設備	被災者が石炭灰貯蔵サイロの灰出し作業中、当該サイロ内のホッパー上に堆積した灰の上に乗る、バキュームホースを用いて当該灰を吸い出していたところ、足元の状態が緩み、堆積灰の中に埋没したもの。

過去10年間の死亡災害発生状況

発生日	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	合計
死亡件数	4	4	8	9	5	9	4	3	2	5	53
	(1)		(4)		(2)				(2)		(9)

※死亡件数欄のカッコ内の数字は交通事故の件数で内数

1 労働災害発生状況について

令和4年11月末現在の全産業における労働災害（死亡及び休業4日以上）は776件でした。災害の型別では、その他326件（42.0%）、転倒131件（16.9%）、墜落・転落65件（8.4%）、はさまれ・巻き込まれ及び動作の反動・無理な動作53件（6.8%）の順に多く発生しております。

2 年末年始無災害運動について

年末年始は何かと慌ただしい時期であり、普段の作業や生活のリズムが変わりやすいことに加え、大掃除や一斉に操業を停止・開始するなど非常作業が多く、労働災害の増加が懸念されます。このような中、12月1日から1月15日までの期間で「年末年始無災害運動」が展開されていますので、年末年始を無災害で過ごし、明るい新年を迎えられるよう、各事業場において安全衛生活動の促進をお願いします。

なお、中央労働災害防止協会のホームページに実施要項やチェックリスト等が掲載されていますので、ご活用ください。



リンク先の2次元コード

3 冬季災害の防止について（北海道冬季ゼロ災運動を実施中です）

本格的な冬の時期に入っています。凍結等による転倒、自動車のスリップや吹雪等による視界不良時の交通事故、除雪作業に伴う墜落災害、屋内での内燃機関、練炭、ジェットヒーター等の使用による一酸化炭素中毒等の特有の労働災害が懸念されます。このような災害の対策を徹底し、冬季災害を防ぎましょう。